



那須高校タイム

対話から始まる探究
今年も『那須まち人物図鑑』制作開始

『那須まち人物図鑑』は、本校の教育活動の中核を担う「総合的な探究の時間（総探）」の活動の一つで、今年で6年目を迎えます。今回は18名の講師の皆さまをお招きし、生徒たちが第1回となるインタビューを行いました。

直前まで質問内容を確認するなど、準備を進めてきた生徒たち。講師を迎える際には緊張した表情も見られ、インタビューが始まった直後は、どこかぎこちない雰囲気があったように感じました。しかし、質問を重ねるうちに少しずつ表情も和らぎ、教室

のあちらこちから笑い声が聞こえるようになりました。

用意していた質問だけでなく、事前に調べた講師の情報から新たな質問を投げかけ「えっ、なんで知っているの？調べたの？」と講師を驚かせる場面も。質問が一通り終わった後も「好きなものは何ですか？」といった何気ない会話から話題を広げるなど、生徒たちなりにコミュニケーションを続ける姿が見られました。

また、仕事内容だけでなく「仕事とは何か」「何を大切にしているのか」など、講師の考え方や価値観にまで迫るグループもありました。

これまでのインタビュー練習で大切にしてきたのは、相手の話をしっかりと聞き、リアクションを返すこと。そして、話の中で感じた驚きや発見の「！」「疑問やもっと知りたいという？」を、次の質問につなげることです。今回のインタビューでは、これまで練習してきたことを実践しながら、用意した質問だけに頼らず、その場で感じたことや興味を言葉にして、会話を広げようとする姿が見られました。

さらに今回は、講師の方々の仕事やこれまでの経験について伺うだけでなく、現在困っていることや課題に感じていることについてもお話しいただきました。その課題に対して自分たちなりの解決策を考え、次回の

インタビューで提案することが、生徒たちへの「宿題」です。今回伺ったお話をもとに、生徒たちがどのようなアイデアを生み出し、提案へとつなげていくのか楽しみです。

インタビュー終了後、講師を控室まで案内する生徒たちの姿は、開始前とは大きく変わっていました。「今度、お店に行ってみたいです！」などと楽しそうに会話を交わし、そこにはもう、最初の緊張した様子はありませんでした。講師の方々からも、「高校生たちが一生懸命質問してくれてうれしかった」「2回目のインタビューでまた会えるのが楽しみ」と、温かい言葉をいただきました。

第1回のインタビューをとおして生まれた、地域の方々との新たなつながり。次回は今回のお話をさらに掘り下げるとともに、講師の方々を抱える課題にも向き合いながら、その人ならではの魅力や生き方に迫っていきます。

ご多用の中、生徒たちのために貴重なお時間をいただいた講師の皆さま、誠にありがとうございました。

（コーディネーター 青砥史恵）

栃木県立那須高等学校

那須町大字寺子乙3932-48 TEL / 0287(72)0075

tochigi-edu.ed.jp/nasu

「那須高校タイム」は生徒会の生徒と
高校魅力化コーディネーターが共に作るページです